

大阪市立



え なみ しょうがっこう
榎並 小学校

- 郵便番号 536-0006
- 所在地 城東区野江4丁目1-28
- 電話番号 (06)6931-7373
- FAX (06)6931-7034
- 校長名 梅山 仁美



- 【概要】** 本校区は住宅地域で、学校の横に地下鉄野江内代駅、校区内にJR野江駅、校区に隣接して京阪電車の野江駅、地下鉄蒲生四丁目駅があり、また学校西側には国道163号線が通るなど、交通の便利な地域である。
- 【教育目標】** 「自ら学び、心身ともにたくましく生きる子どもを育てる」を教育目標に、校訓「強く 正しく 明るく」をめざす子ども像として、体力のある子、思いやりのある子、自ら学ぶ子の育成に取り組んでいる。
- 【沿革】** 本校は明治9年5月に当地に創立され、今年で創立148周年を迎えた。校区内には本校を卒業した方が多数居住され、毎日の子ども見守り隊活動など地域で子どもを育てる意識が強く、学校教育に協力・支援を惜しまない地域である。

運営に関する計画〈中期目標〉

【安全・安心な教育の推進】

- 令和4年度～令和7年度の学校生活アンケートにおける「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合80%以上を維持する。
- 令和7年度末の学校生活アンケートにおける「自分や友だちの心とからだ・いのちを大切にできる」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合を90%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和7年度の小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、いずれの学年も令和3年度より0.1ポイント以上向上させる。
- 令和4年度～令和7年度の学校生活アンケートにおける「学習を通して、自分の考えに自信をもったり、色々な考えに気づいたりすることができる」という項目について「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合80%以上を維持する。

【学びを支える教育環境の充実】

- 令和7年度末の学校生活アンケートにおける「タブレットをつかった学習は自分にとって大切だと思う」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合85%以上にする。

全国学力・学習状況調査の結果から明らかになった現状

【令和5年度調査結果の概要】

【国語】平均正答率は、大阪市平均より2ポイント、全国平均より2.2ポイント低い。領域別にみると、「言葉の特徴や使い方に関する事項」を除く4領域で、大阪市平均、全国平均共に下回っている。

本校平均正答率	
国語	算数
65%	62%

【算数】平均正答率は、大阪市平均と同じだが、全国平均より0.5ポイント低い。領域別にみると「図形」「変化と関係」の2領域が大阪市平均、全国平均共に下回った。

【これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題】

国語では「図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝えるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる」趣旨の問題の正答率が全国平均26.7ポイントに対し本校は17.2ポイント「文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる」の趣旨の問題の正答率は、全国平均が56.2ポイントに対し本校は48.3ポイントと、ともに全国平均より大きく下回っている。反対に、「漢字を文章の中で正しく使うことができるかどうかを見る」趣旨の問題の正答率は、全国平均の10ポイント以上上回った。また算数では、ほとんどの問題において、正答率は大阪市平均、全国平均とほぼ同じである。しかし、「正三角形の意味や性質について理解しているかどうかを見る」「高さが等しい三角形について、底辺と面積をもとに面積の大小を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できるかどうかを見る」という図形に関する出題の趣旨の問題の正答率は7～10ポイント以上下回っている。

この結果から、国語算数ともに情報を精選する力や、収集したデータから考えたことを「書き表す」ことに課題がある。

全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果から明らかになった現状

【令和5年度調査結果の概要】

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅跳び	ボール投げ	体力合計点
男子	17.03	20.45	35.38	41.85	51.69	9.50	145.98	21.46	54.41
女子	16.86	19.34	35.03	37.90	40.07	9.65	134.21	11.66	52.46

男子女子共に、握力、上体起こし、20mシャトルランの種目で大阪市平均・全国平均を上回っていた。反対に男子は50m走、立ち幅跳び、女子は長座体前屈、立ち幅跳び、ソフトボール投げの種目で大阪市平均・全国平均を下回っていた。体力合計点については、男子は大阪市平均・全国平均を上回っているが、女子は大阪市平均・全国平均を下回っている。

【これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題】

- ICTを有効活用し、プロのアスリートの動きや、NHK for school等の動画を視聴したり、自分たちで、タブレット端末で運動に取り組む様子を撮影し、自分たちの動きを確認したりして児童が運動に興味を持って運動に取り組むことができた。また、体力向上の取り組みの一つとして、3学期には運動委員会に全学年が長縄とびの活動を行った。その結果、運動に楽しんで取り組む機会をもつことができた。
- 運動場の広さと児童数の増加による安全面の配慮から、休み時間、運動場を使用する学年を制限をせざるを得ず、運動時間が限られていることから、体育の学習時間内で、体力の向上を図れるようなアイデアを出し合って、より充実した指導を行うことができるよう工夫を行うことができた。しかし、体育の授業や休み時間の外遊びだけでは、十分に運動量を確保できているとは言えないので、日常的な運動習慣の定着を図る必要がある。

学校のアピールポイントなど

多様な
体験活動の
取り組み



地域の方への「お礼の会」



榎並防災デー(防災学習)



音楽体験



昔あそびの会



葉牡丹植え付け



町たんけん



外部講師によるそろばん教室



えなみフェスティバル



高校生と工芸体験を通じた交流



高校生とのスポーツ交流



キッズニア甲子園(キャリア教育)

◇ 地域に支えられた学校

本校では、毎日、榎並地域の老人会ボランティアの「子ども見守り隊」が登下校を見守ってくださっています。さらに、夜間は地域ボランティアによる「青色パトロール」の巡回が行われています。

このような安全・安心な街づくりの取り組みに支えられ、地域に生きる子どもたちを育てています。



学校案内図 (14ページもあわせてご覧ください)

